



ヤフー株式会社

**2007年度 第4四半期
および通期決算説明会**

2008年4月25日



本説明会および参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承ください。

会社の業績に影響を与え得る事項の詳細な記載は「平成20年3月期 決算短信」の「事業等のリスク」にありますので、ご参照ください。但し、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。



2007年度 通期ハイライト

- 通期の売上高は2,620億円(前年比23.3%増)、営業利益は1,248億円(前年比17.5%増)、経常利益は1,215億円(前年比18.2%増)、当期純利益は626億円(前年比8.0%増)となり、サービス開始以来11期連続で増収増益を達成した。
- 広告事業においては、10月から販売を開始した「プライムディスプレイ」や1月のYahoo! JAPANトップページの全面リニューアルに伴いサイズを拡大した「ブランドパネル」など、ブランディング効果の高い広告商品の売上が伸びたほか、行動ターゲティングの利用も拡大し、ディスプレイ広告の通期の売上は前年と比べて堅調に推移した。検索連動広告の売上は、更なる市場の拡大および検索サービスの利用増加に加えて、7月より品質インデックスと入札単価を考慮した広告掲載を開始したことや、9月より連結子会社化したオーバーチュア(株)の業績が連結されたことによる増収により、前年と比べて大きく増加した。モバイル広告においても、検索連動広告を中心に売上が増加した。通期の広告事業の売上高は1,310億円(前年比46.9%増)となった。

- ビジネスサービス事業では、「Yahoo!不動産」が掲載件数の拡大およびサイトのリニューアルにより大きく売上が伸びるなど、情報掲載関連の売上が順調に推移した。リサーチ関連の売上は、(株)インタースコープを子会社化したことに加えて積極的に事業を展開した結果、前年と比べて大きく増加した。「Yahoo!ショッピング」では、11月にパソコン版、モバイル版ともに全面リニューアルを実施し利用の拡大を図ったほか、引き続き新規ストアの出店に努めた結果、平成20年3月末の「Yahoo!ショッピング」、「Yahoo!オークション」のストア数は合計で31,289店舗とこの1年で4,245店舗(15.7%増)増加、「Yahoo!ショッピング」、「Yahoo!オークション」のテナント料および手数料収入も好調に推移した。通期のビジネスサービス事業の売上高は580億円(前年比20.4%増)となった。
- パーソナルサービス事業では、「Yahoo!オークション」において、特にモバイルの利用が拡大し、モバイル経由のページビューや入札件数が大きく伸びたが、自動車・車体など特定カテゴリの不振に加えて、参加資格の変更や不正防止策の強化の影響などにより取扱高が前年と比べて伸び悩んだ。また、ビジネスサービス事業の売上に計上されるBtoCオークションの割合が高まったことにより、システム利用料収入は微減となった。「Yahoo!プレミアム」においては、新規会員獲得キャンペーンを実施する一方で、会員の付加価値を高める施策を行った結果、平成20年3月末のYahoo!プレミアム会員ID数は691万IDとなり、前年同月末と比べて72万ID(11.7%増)増加した。「Yahoo! BB」のISP料金収入は、ソフトバンクBB(株)との業務提携契約の見直しによる影響で前年と比べて大きく減少した。通期のパーソナルサービス事業の売上高は730億円(前年比3.0%減)となった。
- 「Yahoo!オークション」、「Yahoo!ショッピング」、「Yahoo!トラベル」、「Yahoo!チケット」の取扱高を合計したコマース取扱総額は、通期で9,400億円(前年比4.5%増)となり、特にモバイル経由での取扱高の伸びが顕著であった。



2007年度第4四半期 ハイライト

- 第4四半期の売上高は742億円(前年同四半期比28.9%増、前四半期比5.9%増)、営業利益は337億円(前年同四半期比14.3%増、前四半期比7.9%増)、経常利益は328億円(前年同四半期比15.3%増、前四半期比6.6%増)、四半期純利益は161億円(前年同四半期比1.2%増、前四半期比5.8%減)となった。関連会社株式の評価損を計上したため特別損失が発生した。
- 広告事業においては、新たにサイズを拡大した「ブランドパネルトリプルサイズ」の販売を開始したほか、動画広告配信機能を組み込んだ「インターネットCMプラス」などの新商品を積極的に提案し、広告主の年度末需要の取り込みに注力した。当四半期のディスプレイ広告の売上は過去最高を更新、検索連動広告の売上も前年同四半期比で大きく増加し過去最高となった。当四半期の広告事業の売上高は402億円(前年同四半期比61.6%増、前四半期比9.8%増)となった。
- ビジネスサービス事業では、「Yahoo!不動産」において、転居シーズンで需要が高まったことに加えて賃貸住宅ページのリニューアルを行った結果、売上が大きく伸びたほか、リサーチ関連の売上も、(株)インタースコープを子会社化した影響などにより前年同四半期比で大きく増加した。「Yahoo!ショッピング」では、バレンタインデーや新生活など季節の販促特集を展開して利用の拡大に努めたほか、引き続きストア数の増加を図った。当四半期のビジネスサービス事業の売上高は151億円(前年同四半期比15.1%増、前四半期比2.3%増)となった。



2007年度第4四半期 ハイライト

- パーソナルサービス事業では、「Yahoo!オークション」において、季節に合わせた販促企画やモバイルからの出品を無料にするキャンペーンなどを行い利用の拡大を図ったが、取扱高は年末の商戦期であった前四半期と比べて伸び悩んだ。「Yahoo!プレミアム」においては、6月より実施したキャンペーンのプレミアム会員費無料期間が12月末に終了したことにより、前四半期に比べて売上が大きく伸びた。有料コンテンツの売上也順調に推移した。当四半期のパーソナルサービス事業の売上高は188億円(前年同四半期比3.2%減、前四半期比1.5%増)となった。
- 1月1日に平成8年のサービス開始後初めてとなるYahoo! JAPANトップページの全面的なリニューアルを実施した。お客様のニーズに応え、より使いやすい機能の充実を目指した結果、ページビュー数も順調に推移し、広告商品「ブランドパネル」の売上也前年同四半期および前四半期に比べて大きく拡大するなど、リニューアルは大きな成功をおさめた。

2007年度 通期決算

(連結ベース)

当期末の主な連結子会社

(株)アルプス社

オーバーチュア(株) **NEW!**

(株)ニュースウォッチ

ファーストサーバ(株)

ヤフーバリューインサイト(株)

ワイズ・エージェンシー (株)

(株)インディバル

トライクル(株)

(株)ネットラスト

(株)ブレイナー **NEW!**

ワイズ・インシュアランス(株)

ワイズ・スポーツ(株)

当期末の主な持分法適用会社

(株)オールアバウト

(株)クラシファイド **NEW!**

JWord(株)

(株)たびゲーター

TVバンク(株)

(株)ファッションウォーカー

(株)ベストリザーブ **NEW!**

オリコンDD(株) **NEW!**

(株)クレオ

セブンアンドワイ(株)

(株)テレウェイヴ **NEW!**

バリューコマース(株)

フォートラベル(株) **NEW!**

夢の街創造委員会(株)

2008年4月1日付で、当社は(株)アルプス社と(株)ブレイナーを吸収合併いたしました



2007年度通期損益計算書

	2007年度	2006年度	増減率
売上高 (億円)	2,620	2,125	23 %
売上原価 (億円)	282	84	233 %
売上総利益 (億円)	2,337	2,040	15 %
営業利益 (億円)	1,248	1,062	17 %
経常利益 (億円)	1,215	1,028	18 %
当期純利益 (億円)	626	579	8 %
EPS (円)	1,035	958	8 %
発行済株式数(期中平均) (万株)	6,048	6,046	0 %
完全希薄化後 EPS(円)	1,033	956	8 %
完全希薄化後株式数 (万株)	6,057	6,058	0 %

* 発行済株式数、完全希薄化後株式数は自己株式を除いています

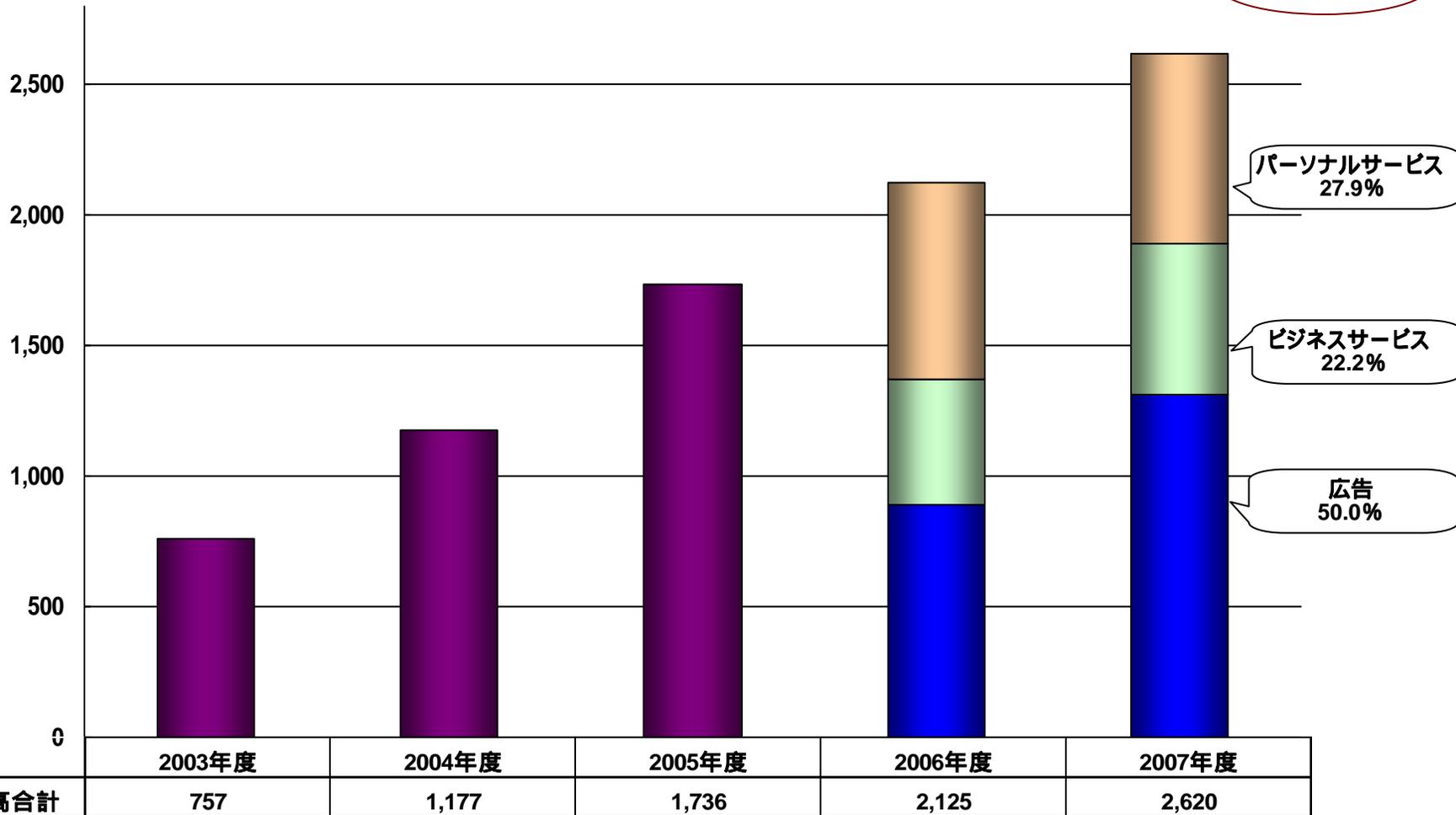


通期売上高推移

売上高はサービス開始以来11期連続増加

単位: 億円

売上高構成比

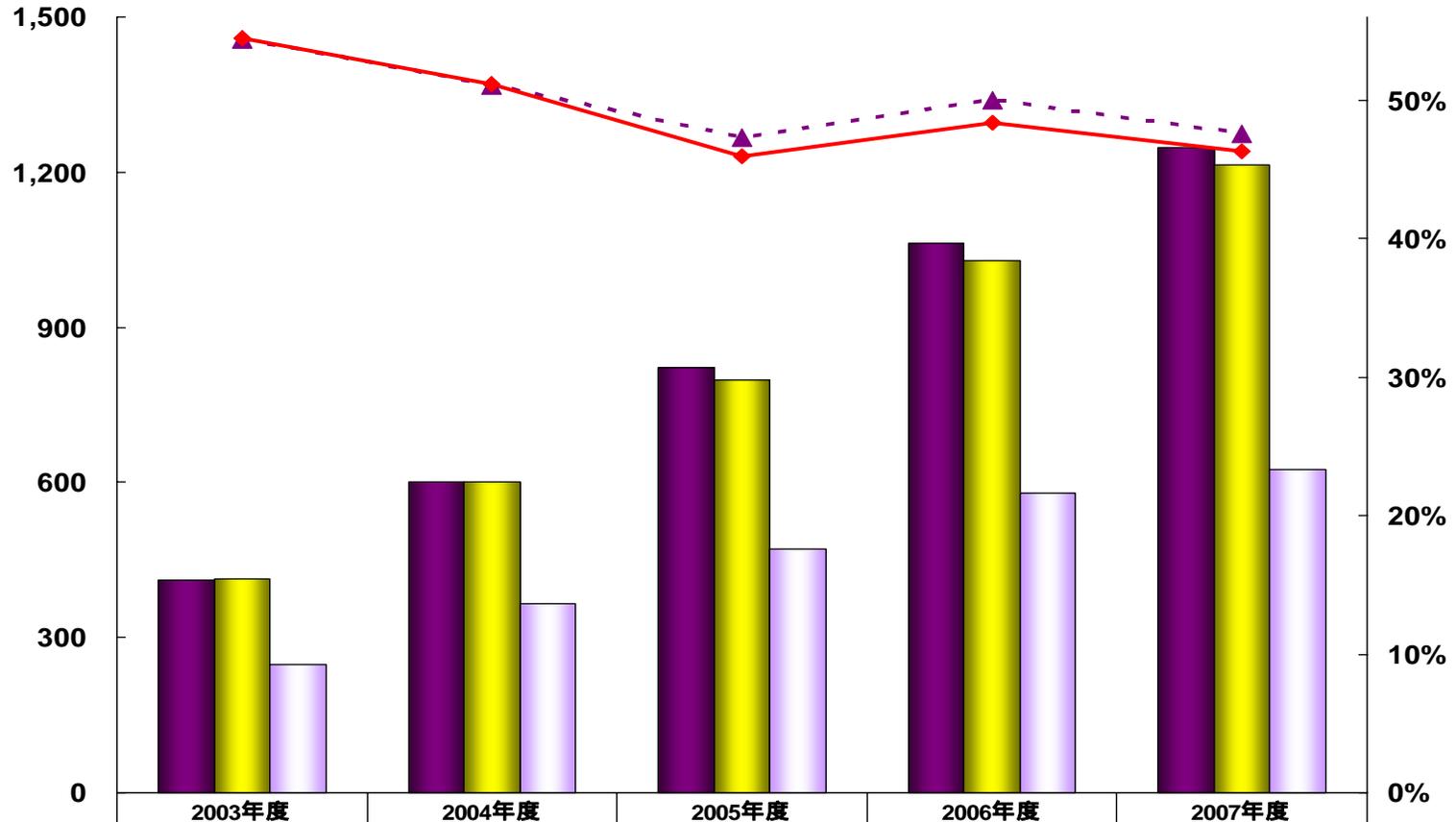




通期利益の推移

営業・経常・当期利益はサービス開始以来11期連続増加

単位: 億円



営業利益	412	601	821	1,062	1,248
経常利益	413	602	798	1,028	1,215
当期純利益	248	365	470	579	626
売上高営業利益率	54%	51%	47%	50%	48%
売上高経常利益率	55%	51%	46%	48%	46%



販管費構成の推移(通期)

単位: 億円

	2007年度	2006年度	前年度比 増減額	前年度比 増減率
人件費	226	187	38	20.5%
業務委託費	160	138	21	15.9%
販売手数料	114	103	10	10.3%
減価償却費	96	81	14	18.3%
通信費	83	79	4	5.9%
ロイヤルティ	75	60	14	24.7%
賃借料・水道光熱費	64	51	12	25.3%
情報提供料	52	45	6	14.6%
支払手数料	51	36	14	40.3%
販売促進費	45	71	-26	-36.6%
維持管理費	20	17	2	16.8%
貸倒引当金繰入額	17	22	-4	-20.3%
のれん償却額	16	13	2	16.0%
広告宣伝費	12	17	-4	-24.1%
租税公課	11	9	2	21.6%
その他	41	42	-1	-3.1%
販管費合計	1,089	978	111	11.4%

主な前年度比増減要因

人員の増加 (2008年3月末の役職員数は3,780人。前年度比で702人増加)

派遣・常駐社員費用、カード事業運営委託費用、オーバーチュア(株)の連結子会社化

ソフトウェアの取得、オフィスの一部移転・増床

オフィスの一部移転・増床、オーバーチュア(株)の連結子会社化

「Yahoo!かんたん決済」取扱高増加、オーバーチュア(株)の連結子会社化

Yahoo! BB事業の業務提携契約見直しによる、会員獲得費用の消滅

個人向け債権の回収率改善

2006年度にTVCMを展開



2007年度通期貸借対照表

主な科目	2008年3月末	2007年3月末	増減	主な増減要因	単位: 億円
< 資産の部 >					
流動資産	1,643	1,153	489	営業活動による収益の増加	
現金及び預金	1,130	752	378		
受取手形・売掛金	368	302	65	オーバーチュア(株)の連結子会社化による 債権の増加	
固定資産	2,053	2,031	22		
有形固定資産	166	165	0		
無形固定資産	138	146	-8		
投資有価証券	1,639	1,621	17		
資産の部合計	3,696	3,184	512		
< 負債の部 >					
流動負債	889	760	129	オーバーチュア(株)の連結子会社化による 買掛金の増加	
買掛金	66	10	55		
短期借入金	200	201	-1		
未払金	137	133	3		
未払法人税等	291	283	7		
固定負債	300	500	-200	長期借入金の返済	
負債の部合計	1,189	1,260	-70		
< 純資産の部 >					
株主資本	2,463	1,893	570	利益の増加	
資本金	73	71	1		
資本剰余金	24	22	1		
利益剰余金	2,366	1,798	567		
評価・換算差額等	17	13	3		
少数株主持分	24	16	7		
純資産の部合計	2,506	1,923	582		
負債・純資産合計	3,696	3,184	512		



2007年度通期キャッシュ・フロー

主な項目	2007年4月-2008年3月	主な増減要因	単位: 億円
営業活動によるキャッシュ・フロー	814		
税金等調整前当期純利益	1,139	税引前当期純利益の増加	
減価償却費	101		
のれん償却額	34		
投資有価証券評価損	41		
持分法による投資損失	30		
売上債権・仕入債務の増加	16		
その他営業債権・債務	-66		
法人税等の支払	-511		
投資活動によるキャッシュ・フロー	-169		
有形固定資産の取得	-75	サーバー等設備の取得	
無形固定資産の取得	-37		
投資有価証券の取得・売却	-86	GMOインターネット(株)、(株)サイネックスの株式の取得等	
子会社株式の取得	19		
財務活動によるキャッシュ・フロー	-261		
長期借入金の返済	-200		
配当金の支払	-58		
キャッシュ・フロー増加額	383		

2007年度第4四半期決算 (連結ベース)

当四半期末の主な連結子会社

(株)アルプス社	(株)インディバル
オーバーチュア(株)	トライクル(株)
(株)ニュースウォッチ	(株)ネットラスト
ファーストサーバ(株)	(株)ブレイナー
ヤフーバリューインサイト(株)	ワイズ・インシュアランス(株)
ワイズ・エージェンシー (株)	ワイズ・スポーツ(株)

当四半期末の主な持分法適用会社

(株)オールアバウト	オリコンDD(株)
(株)クラシファイド NEW!	(株)クレオ
JWord(株)	セブンアンドワイ(株)
(株)たびゲーター	(株)テレウェイヴ
TVバンク(株)	バリューコマース(株)
(株)ファッションウォーカー	フォートラベル(株)
(株)ベストリザーブ	夢の街創造委員会(株)

2008年4月1日付で、当社は(株)アルプス社と(株)ブレイナーを吸収合併いたしました



2007年度第4四半期損益計算書

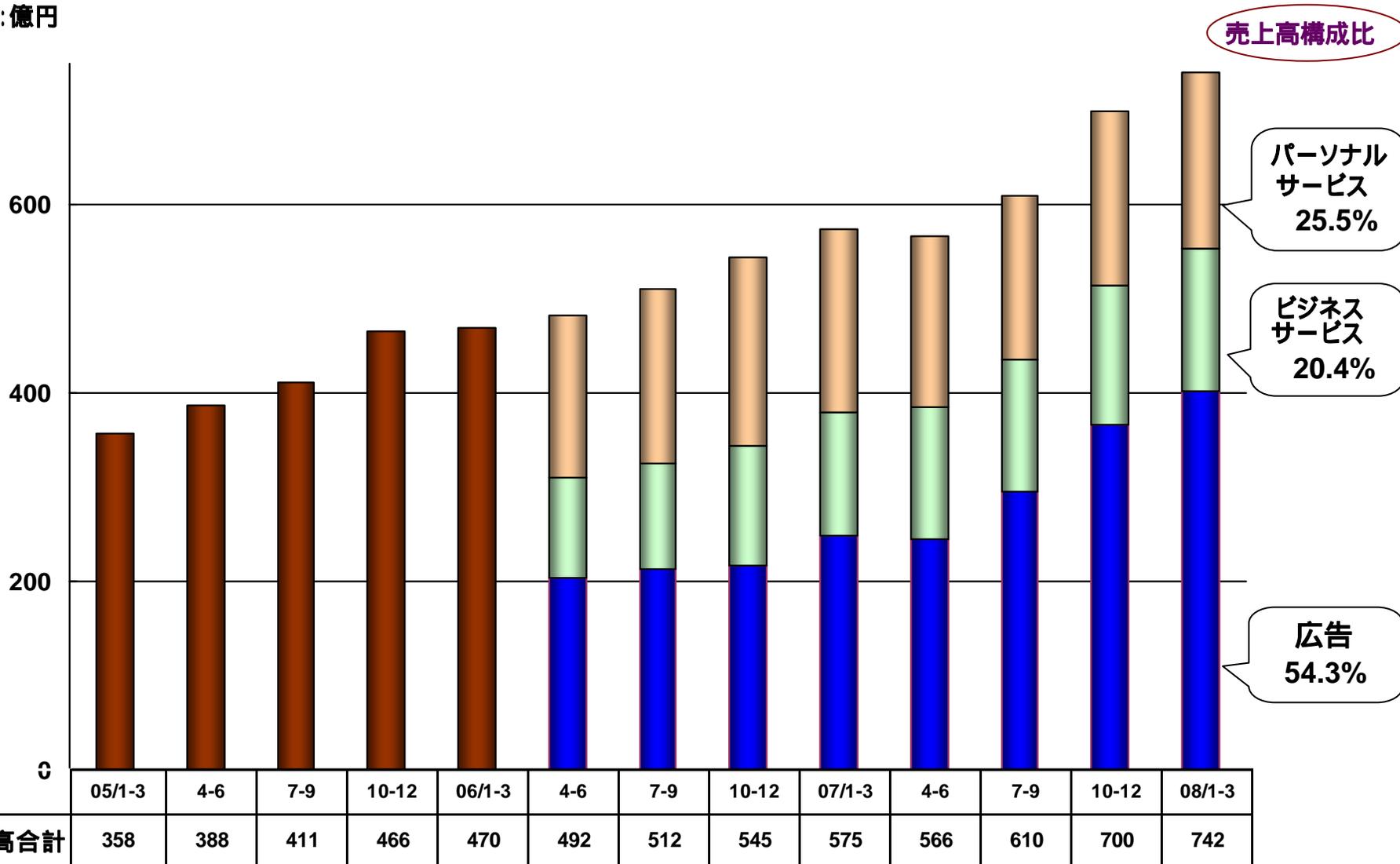
	2008年1-3月	2007年1-3月	増減率
売上高 (億円)	742	575	29 %
売上原価 (億円)	110	22	403 %
売上総利益 (億円)	631	553	14 %
営業利益 (億円)	337	295	14 %
経常利益 (億円)	328	284	15 %
四半期純利益 (億円)	161	159	1 %
EPS (円)	267	264	1 %
発行済株式数 (期中平均) (万株)	6,049	6,047	0 %
完全希薄化後 EPS (円)	267	263	1 %
完全希薄化後株式数 (万株)	6,057	6,058	0 %

*発行済株式数、完全希薄化後株式数は自己株式を除いています



四半期売上高推移

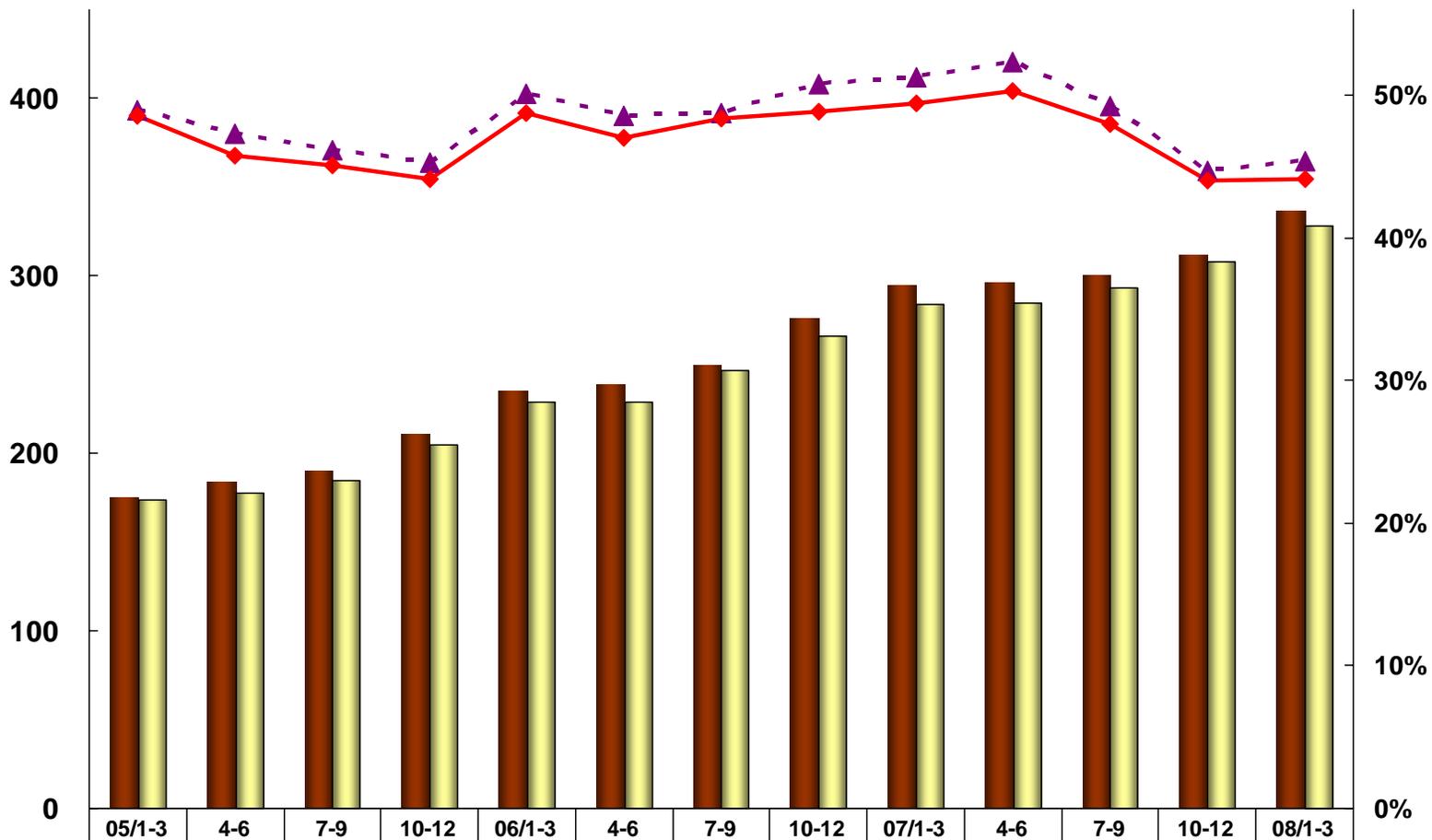
単位: 億円





四半期利益の推移

単位: 億円



07/7-9以降の利益率は、オーバークチュア(株)連結子会社化の影響により低下しています





2007年度第4四半期収益内訳

単位: 億円

	売上高	主な内訳(事業部別)		売上総利益	販管費	営業利益	営業利益率
広告事業	402	検索事業部 およびオーバーチュア(株) メディア事業部 サービス統括部 ソーシャルネット事業部 オークション事業部	63% 11% 10% 4% 3%	315	133	182	45.3%
ビジネスサービス事業	151	地域サービス事業部 事業推進本部 オークション事業部 ショッピング事業部 会員サービス事業部	32% 25% 16% 13% 8%	129	70	59	39.5%
パーソナルサービス事業	188	オークション事業部 会員サービス事業部 事業推進本部	44% 42% 9%	186	59	126	67.2%



販管費構成の推移(四半期)

単位:億円

	07/4Q	構成比	07/3Q	前四半期比 増減率	06/4Q	前年同期比 増減率
人件費	62	21.2%	60	2.6%	47	30.0%
業務委託費	41	14.2%	40	2.7%	35	17.2%
販売手数料	30	10.5%	28	7.5%	29	5.2%
減価償却費	28	9.6%	24	12.8%	24	15.4%
通信費	21	7.5%	21	3.8%	19	10.8%
ロイヤルティ	21	7.4%	19	9.4%	16	33.8%
賃借料・水道光熱費	18	6.3%	19	-7.3%	14	31.0%
支払手数料	14	4.9%	14	-0.8%	10	40.0%
情報提供料	13	4.6%	13	-3.1%	12	8.7%
販売促進費	12	4.4%	11	10.8%	16	-24.4%
維持管理費	5	1.7%	4	2.9%	4	1.9%
のれん償却額	3	1.2%	4	-23.8%	3	6.1%
広告宣伝費	3	1.2%	3	-13.1%	2	29.9%
貸倒引当金繰入額	3	1.2%	4	-18.5%	5	-39.3%
租税公課	3	1.1%	3	5.3%	2	20.2%
その他	9	3.2%	11	-18.2%	12	-21.7%
販管費合計	293	100.0%	288	2.0%	258	13.8%

主な前年同期比増減要因

人員の増加(2008年3月末の役職員数は3,780人、前年同期末比で702人増加)

派遣・常駐社員費用、カード事業運営委託費用、オーバーチュア(株)の連結子会社化

ソフトウェア・サーバーの取得等

オフィスの一部移転・増床、オーバーチュア(株)の連結子会社化

「Yahoo!かんたん決済」取扱高増加、オーバーチュア(株)の連結子会社化

Yahoo! BB事業の業務提携契約見直しによる、会員獲得費用の消滅

個人向け債権の回収率改善



2007年度第4四半期貸借対照表

主な科目	2008年3月末	2007年12月末	増減	主な増減要因	単位: 億円
< 資産の部 >					
流動資産	1,643	1,299	343	営業活動による収益の増加	
現金及び預金	1,130	819	311		
受取手形・売掛金	368	345	22		
固定資産	2,053	2,070	-16	ヤフーバリューインサイト(株)株式の評価損に伴うのれんの償却	
有形固定資産	166	162	3		
無形固定資産	138	161	-23		
投資有価証券	1,639	1,638	1		
資産の部合計	3,696	3,370	326		
< 負債の部 >					
流動負債	889	732	156		
短期借入金	200	201	-1		
未払金	137	128	8		
未払法人税等	291	140	151		
固定負債	300	300	0		
負債の部合計	1,189	1,033	156		
< 純資産の部 >					
株主資本	2,463	2,302	161	利益の増加	
資本金	73	73	0		
資本剰余金	24	23	0		
利益剰余金	2,366	2,205	160		
評価・換算差額等	17	11	5		
少数株主持分	24	22	1		
純資産の部合計	2,506	2,337	169		
負債・純資産合計	3,696	3,370	326		



2007年度第4四半期キャッシュ・フロー

主な項目	2008年1-3月	主な増減要因	単位:億円
営業活動によるキャッシュ・フロー	352		
税金等調整前四半期純利益	298	税引前四半期純利益の増加	
減価償却費	29		
のれん償却額	21	ヤフーバリューインサイト(株)株式の評価損に伴うのれんの償却	
投資有価証券評価損	3		
売上債権・仕入債務の増加	-20		
その他営業債権・債務	8		
投資活動によるキャッシュ・フロー	-41		
有形固定資産の取得	-21	サーバーの取得等	
無形固定資産の取得	-7		
投資有価証券の取得・売却	-6		
財務活動によるキャッシュ・フロー	-0		
短期借入金の返済	-1		
キャッシュ・フロー増加額	311		



役職員数の推移

単位:人

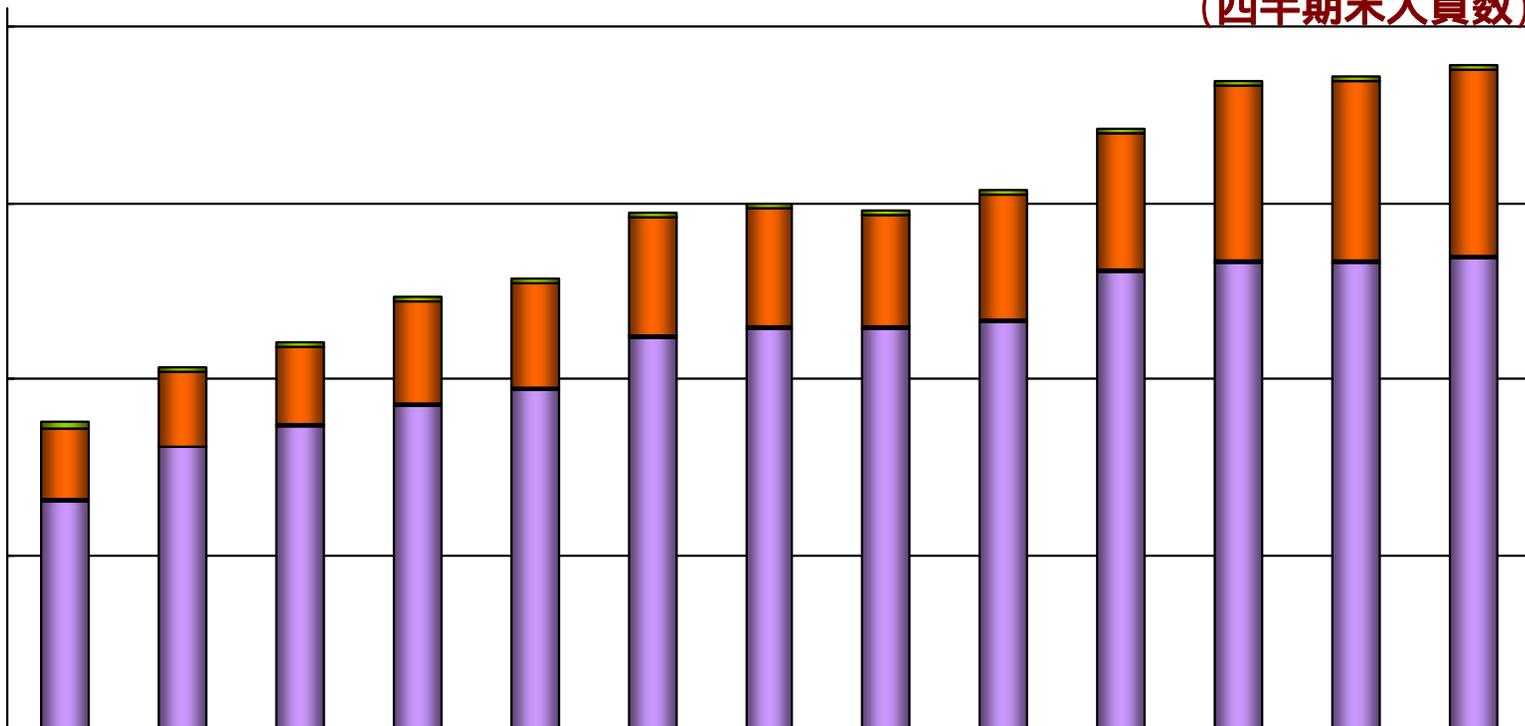
4,000

(四半期末人員数)

3,000

2,000

1,000



上記の子会社役員・従業員数はYahoo! JAPANとの兼任および出向者を含んでいません





2007年度第4四半期および通期のレビュー

検索連動広告・「Yahoo!不動産」関連収入・「Yahoo!プレミアム」会員費収入が順調に推移したものの、ディスプレイ広告・求人関連事業は期待ほど伸びなかった

売上変動費が見通しを下回ったことに加え、減価償却費・業務委託費等を抑制。また、個人向け債権の回収率改善により貸倒引当金繰入額が減少
ヤフーバリューインサイト(株)株式の減損に伴う損失の計上等により、四半期純利益は見通しを下回った

単位:億円

(連結ベース)	四半期実績	四半期見通し (2008年1月30日時点)	通期実績	通期見通し (2008年1月30日時点)
売上高	742	728~766	2,620	2,606.02~2,644.02
営業利益	337	317.5~345.5	1,248	1,227.95~1,255.95
経常利益	328	316~344	1,215	1,202.60~1,230.60
四半期純利益	161	184~200.5	626	648.43~664.93



売上高の表示方法変更(純額表示)について

2008年度第1四半期決算より、従来の連結売上高から、売上原価および販管費の一部の科目を差し引いた、売上高のネット表示(純額表示)を行う(営業利益への影響はなし)

【変更の理由】

オープン化戦略の推進により、パートナーや代理店等の提携先企業との取引の重要性が増してきたことに鑑み、当社とパートナー/代理店との役割分担およびリスク負担をあらためて検討した結果、売上高を純額で表示することがより合理的であると判断したため

【ネット計上に変更となる項目】

ヤフー(株)単体

ディスプレイ広告における代理店手数料:売上高および販管費(販売手数料)から控除
ディスプレイ広告のアドネットワークにおけるパートナーサイトへのTAC
(Traffic Acquisition Cost):売上高および売上原価から控除

連結子会社

検索連動広告におけるパートナーサイトへのTAC(オーバーチュア(株)):
売上高および売上原価から控除
決済関連事業における支払手数料((株)ネットラスト):
売上高および販管費(支払手数料)から控除



2008年度第1四半期見通し

(連結ベース)

例年、第1四半期は季節性により、売上高全体の対前四半期比増加率が小さいことに加え、景況感の影響も考慮に入れ、2008年度第1四半期の売上高は対前四半期比ほぼ横ばいで予想した。
尚、販管費は9億円程度増加の見込み

*グロス表示による比較を行っています

単位: 億円

	2007年度第1四半期 (実績)	2007年度第4四半期 (実績)	2008年度第1四半期 (見通し) グロス表示	2008年度第1四半期 (見通し) ネット表示
売上高	566	742	718~750	653~683
営業利益	296	337	315~338	315~338
経常利益	285	328	310.5~333.5	310.5~333.5
四半期純利益	162	161	180~194	180~194

- 当グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する可能性があり、通期の業績見通しについて信頼性の高い数値を算出することは極めて困難であると考えています。従いまして、当グループは四半期ごとに業績発表を行い、併せて次四半期の業績見通しのみを公表することとしています

事業別報告



Yahoo! JAPAN 事業概要

広告事業

インターネット広告

- バナー広告等のディスプレイ広告
- 2007年9月から連結子会社となったオーバーチュア(株)が提供する検索連動広告 他

ビジネスサービス事業

広告以外の法人向けビジネス

- 「Yahoo!リクナビ」「Yahoo!不動産」「Yahoo!自動車」等の情報掲載料
- 「Yahoo!オークション」「Yahoo!ショッピング」テナント料・手数料
- 「Yahoo! BB」新規獲得インセンティブ・継続インセンティブ
- ヤフーバリューインサイト(株)、ファーストサーバ(株) 他

パーソナルサービス事業

個人向けビジネス

- 「Yahoo!オークション」システム利用料
- 「Yahoo!プレミアム」会員費
- 「Yahoo! BB」ISP料金
- (株)ネットラスト
- 有料コンテンツ課金 他

ディスプレイ広告(バナー広告等)

- 広告市場全体に停滞感が強まったが、新たな広告商品の投入や広告主の年度末需要にあった提案を行った結果、ディスプレイ広告の売上は堅調に推移
- 1月1日に行った「Yahoo! JAPAN」トップページのリニューアルにあわせてブランドパネルのサイズを拡大。さらに「ブランドパネルトリプルサイズ」「ブランドパネルインターネットCMプラス」等、視認性・表現力の高い広告商品の販売を開始。ブランディング効果を求めるナショナルクライアントを中心に売上を伸ばした
- 利用者の行動履歴を基に広告配信を行う行動ターゲティング広告は、不動産関連・各種人材サービス・金融等のセクターを中心に売上を伸ばした

検索連動広告(検索事業部・オーバーチュア(株)等)

品質インデックスと入札単価を考慮した広告掲載の開始、クエリ数の伸びや広告主層の拡大、オーバーチュア(株)の連結子会社化(2007年9月)等により、検索連動広告売上は前年同期比で大幅に増加

販管費

- 主な項目は販売手数料、人件費、減価償却費等

Y!ディスプレイ広告売上高の業界別シェア

広告売上高の増加額(前年同期比)が大きかった業界(*) 広告売上高の増加率(前年同期比)が大きかった業界(*)

交通・レジャー
自動車・関連品(輸送用機器)
金融・保険・証券

交通・レジャー
移動体通信サービス
情報処理サービス・ソフト会社

	06/4Q	07/1Q	2Q	3Q	4Q
金融・保険・証券	18.5%	17.8%	17.8%	15.8%	18.9%
自動車・関連品(輸送用機器)	10.7%	10.2%	12.0%	10.8%	11.8%
不動産・建設	11.0%	9.8%	10.0%	9.2%	11.4%
交通・レジャー	6.5%	6.2%	6.4%	7.3%	9.1%
コンピュータ・コンピュータ関連・事務機器	6.5%	4.2%	3.2%	3.8%	6.8%
化粧品・トイレタリー	6.0%	7.7%	8.5%	7.7%	6.3%
各種人材サービス	7.4%	5.1%	4.0%	4.0%	4.6%
移動体通信サービス	3.2%	6.1%	4.7%	8.5%	3.9%
食品	3.2%	3.3%	3.4%	2.6%	2.7%
エンターテイメント系ソフト	2.7%	2.6%	2.3%	3.5%	2.7%
飲料・嗜好品	3.1%	4.8%	5.0%	2.9%	2.4%
ファッション・アクセサリ	2.5%	3.1%	2.7%	3.2%	2.4%
情報処理サービス・ソフト会社	1.8%	1.7%	1.2%	2.8%	2.1%
その他	16.9%	17.4%	18.8%	17.9%	14.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ 上記は検索連動広告を含んでいません

(*)「その他」に含まれる業界を除き、増加額・増加率の大きい順番で並べています

eコマース関連収入 (オークション事業部、ショッピング事業部等)

- 「Yahoo!ショッピング」「Yahoo!オークション」の合計ストア数は2008年3月末で31,289店舗と前年同期比4,245店舗(15.7%)増加。これに伴いコマース関連収入も好調に推移。
「Yahoo!オークション」においてはストア数の増加によりBtoCオークションの割合が高まった

情報掲載料収入 (地域サービス事業部等)

- 「Yahoo!不動産」関連売上が引き続き好調に推移し、第4四半期においては前年同期比40%以上増加した。一方で、企業の採用意欲が停滞する中「Yahoo!リクナビ」関連売上は伸び悩んだ

リサーチ関連収入 (事業推進本部)

- (株)インタースコープの損益を2007年度より取り込んだ影響等により、前年同期比で大きく増加

販管費

- 主な項目は人件費、業務委託費、販売促進費等

「Yahoo!オークション」システム利用料収入(オークション事業部)

- モバイルの利用が拡大し、モバイル経由のページビューや入札件数が大きく伸びたが、特定カテゴリ(自動車車体等)の不振により、「Yahoo!オークション」の第4四半期の取扱高は約1,872億円と前年同期比でほぼ横ばい。またストア数の増加によりBtoCオークションの割合が高まり、パーソナルサービスにおける「Yahoo!オークション」システム利用料収入は減少

「Yahoo!プレミアム」会員費収入(会員サービス事業部)

- 各種キャンペーン等により、当四半期末のプレミアム会員ID数は過去最大の691万IDとなった。2007年6月より行った「プレミアム会員年内無料キャンペーン」の無料期間が終了し、第4四半期の会員費収入は前四半期比で約5億円増加した

「Yahoo! BB」ISP料金収入(会員サービス事業部)

- 2007年4月におけるソフトバンクBBとの業務提携契約の見直しにより、ISP料金収入が前年同期比約10億円減少

販管費

- 主な項目は業務委託費、支払手数料、減価償却費等

事業部別報告



各事業部の2007年度第4四半期における活動

検索事業部

(株)ニューズウォッチとの提携により、ひとつの検索窓からウェブ検索・サイト内検索を行うことができる企業・商用サイト向け検索サービス「サイトサーチ」の提供を開始

「Yahoo!検索」利用日数に応じた「Yahoo!ポイント」付与キャンペーンを「Yahoo!プレミアム」会員向けに実施
検索結果の表示速度改善等、検索の基本性能向上策を継続

オークション事業部

東京納税貯蓄組合総連合会と連携して、「東京型物納オークション」の提供を開始

2007年度の「官公庁オークション」の落札総額は約46億円

特定カテゴリにおいて出品者に「Yahoo!ポイント」を付与する「出品応援キャンペーン」を実施

「車選びドットコム」、オリックス(株)との提携により、自動車車体カテゴリを対象としたキャンペーンを2回実施

初の特定カテゴリ限定出品無料キャンペーン「ファッション出品感謝5DAYS」を実施



各事業部の2007年度第4四半期における活動

会員サービス事業部

「Yahoo!プレミアム」「Yahoo! BB」: 会員獲得のための各種プロモーションの実施(オークション入札経験者に対するプレミアム会員費3ヶ月無料キャンペーン、「Yahoo! BB」申し込み時のプレミアム会員登録によるプレミアム会員費2ヶ月無料キャンペーン、「Yahoo! BB」10ヶ月間1,575円割引キャンペーンの延長等)

「Yahoo!プレミアム」会員価値向上のための施策を各事業部と連携して実施(会員限定の特典付サービスの提供、検索による「Yahoo!ポイント」付与キャンペーン等)

「Yahoo!携帯ショップ」: 販売強化のための各種プロモーションの実施(春モデルかんたん予約サービスの提供、タイムセールの実施、「ディズニー・モバイル」のプロモーション等)

オリコンDD(株)との提携により、著名人とそのファン、およびファン同士が交流するコミュニティー型サービス「Yahoo!ファンクラブ」の提供を開始

地域サービス事業部

「Yahoo!地域情報」(ベータ版): 地域により密着した情報を提供する場としてリニューアル。人気スポットや話題のイベント情報のクチコミ投稿機能等を追加

モバイル版「Yahoo!路線情報」: 検索時間の短縮をはかるためのリニューアルを実施。検索履歴等を参考に検索駅を確定できる機能や、「ルート概要」表示機能などを追加

「Yahoo!地図情報」: 周辺検索機能等を追加

「Yahoo!不動産」: 賃貸情報のページを全面リニューアル。検索条件の変更をリアルタイムで検索結果に反映したり、物件の周辺地図を表示させるなど、利便性が向上



各事業部の2007年度第4四半期における活動

メディア事業部

ブログに貼ることで訪問者数やその属性を確認できるウェブサイト解析ツール「Yahoo!ログール」(ベータ版)の提供を開始

「Yahoo!ニュース」: 海外写真ニュース枠やパートナー特集枠の新設、「速報ニュース」の提供の開始等サービスを拡充

「Yahoo!動画」: 動画プレーヤーの刷新およびサイトのリニューアルを実施。プレーヤーのサイズ拡充、広告枠の拡大、有料コンテンツの購入プロセスの簡便化等、利便性を向上

ショッピング事業部

「Yahoo!ショッピング」: 「売れ筋商品ランキング」の提供を開始。カテゴリ単位で売れ筋商品を絞り込んだり、検索キーワードに基づいたお勧め商品を確認したりすることが可能に

バレンタインデー、ホワイトデー等の季節販促特集に注力

ライフスタイル事業部

「Yahoo! BEAUTY」: 総合美容サイト「Yahoo!ビューティー」を全面リニューアル。「ダイエットダイアリー」登録者への個別アドバイス機能、ダイアリーの公開やライバル設定を行うことができるソーシャル機能を追加

凸版印刷(株)との提携により、インターネット上で折り込みチラシを検索・閲覧することができる「Yahoo!チラシ情報」の提供を開始

「Yahoo!映画」: 「オンラインシアター」で視聴できる映画タイトル数を拡充



各事業部の2007年度第4四半期における活動

ソーシャルネット事業部

「Yahoo!メール」:メールソフト同様の操作性を実現した、次世代「Yahoo!メール」(ベータ版)の提供を開始

「Yahoo!メッセンジャー」:ソフトウェアをダウンロードすることなく、ブラウザから使用できるウェブ版

「Yahoo!メッセンジャー」の提供を開始。また、動画や画像をメッセージウィンドウに直接表示できる等機能を拡充した「Windows版Yahoo!メッセンジャー バージョン9.0」(ベータ版)の提供を開始

モバイル版「Yahoo!ブログ」の提供を開始

Yahoo! JAPAN ID利用者が自分のプロフィールページを作成し、範囲を指定して公開できる

「Yahoo!プロフィール」の提供を開始

モバイル事業部

ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)が運営する「ディズニー・モバイル」のポータルサイト「Disney Web」向けに、モバイル版「Yahoo! JAPAN」のサービスの提供を開始

パソコンサイト「Yahoo!モバイル」を携帯電話の総合情報サイトとしてリニューアル

選択エリアの周辺情報をまとめて調べることができるモバイル版地域情報総合サイト「Yahoo!マチモバ」の提供を開始

一日一回まとめて携帯電話に配信された最新ニュースをインターネットにアクセスせずに閲覧することができるサービス「Yahoo!ヘッドラインニュース」のソフトバンクモバイル「S!情報チャンネル」向けの提供を開始

モバイル版「Yahoo!検索」:ミュージック・コミック・ゲームのカテゴリにおけるコンテンツ検索機能を拡充



各事業部の2007年度第4四半期における活動

事業推進本部

決済事業:東日本旅客鉄道(株)との包括的業務提携の一環として「Yahoo! JAPANカードSuica」の会員募集を開始。また、「Yahoo!ポイント」付与サービスの外部サイトへの提供の初の事例として、イー・ゴルフ(株)と提携。そのほか、「Yahoo!ネットバンキング」において、オークションで購入した商品の到着後に決済を行うことができる「代金支払管理サービス」を導入

旅行事業:海外ツアー予約画面を全面リニューアル。また、アラン(株)が提供する海外旅行オプションツアー予約サイトにおいて、Yahoo! JAPAN IDによる利用を可能に。そのほか、国内高速バス予約サービスの提供を開始

リサーチ事業:ヤフーバリューインサイト(株)との協力により積極的な販売活動、モニター数拡大策を展開。2008年3月末現在の登録モニター数は170万人(PCのみ)

サービス統括部

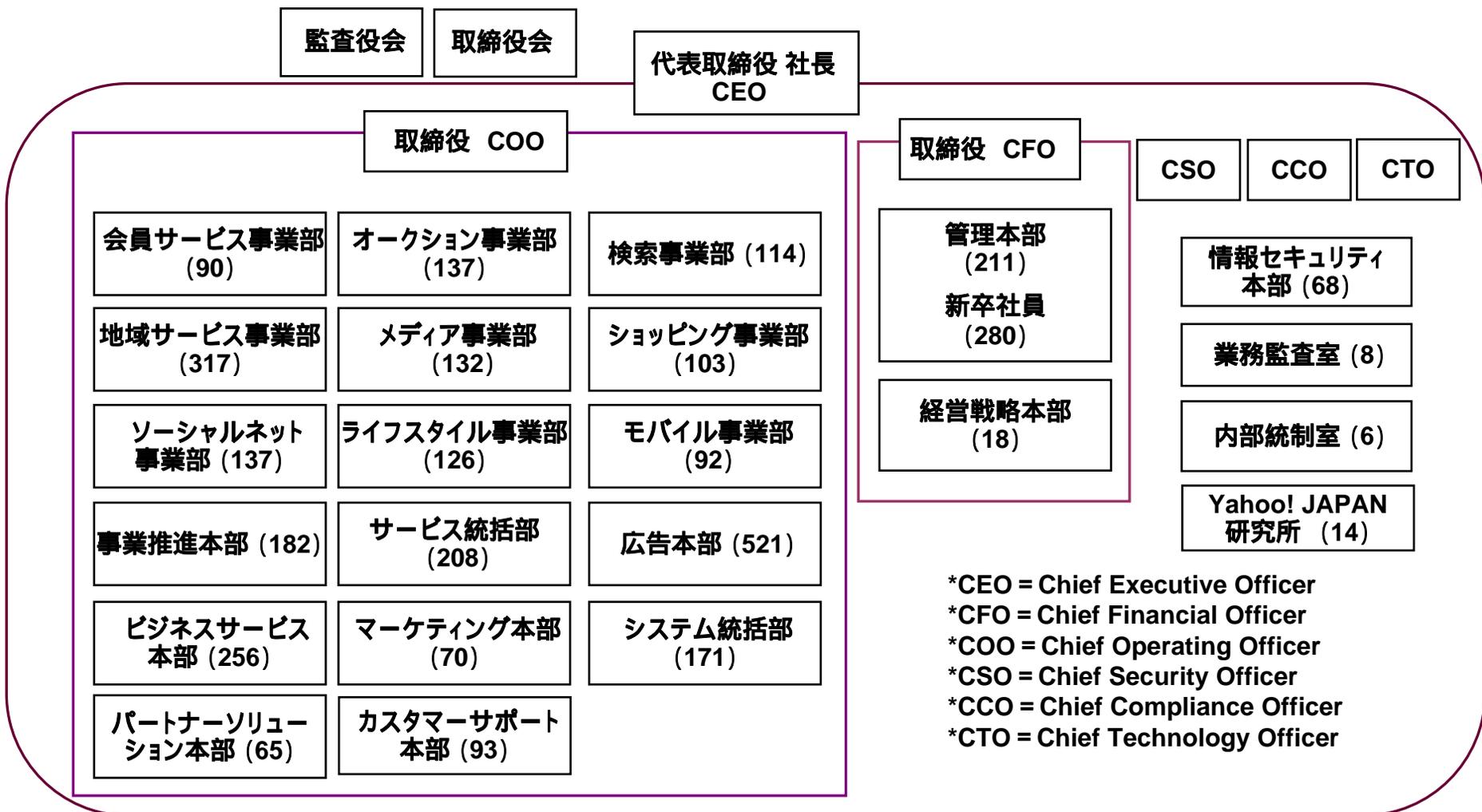
2008年1月1日にYahoo! JAPANトップページを全面リニューアル

「北京オリンピック日本代表選手団にエールを送ろう！」特集を公開。(財)日本オリンピック委員会オフィシャルパートナーとして日本選手団を応援

添付資料



組織図



- *CEO = Chief Executive Officer
- *CFO = Chief Financial Officer
- *COO = Chief Operating Officer
- *CSO = Chief Security Officer
- *CCO = Chief Compliance Officer
- *CTO = Chief Technology Officer

計3,429名 (2008年4月1日現在)

*子会社の吸収合併・人員統合等により、広告本部・地域サービス事業部の人員数が大きく増加しています





2007年度第4四半期 事業データ

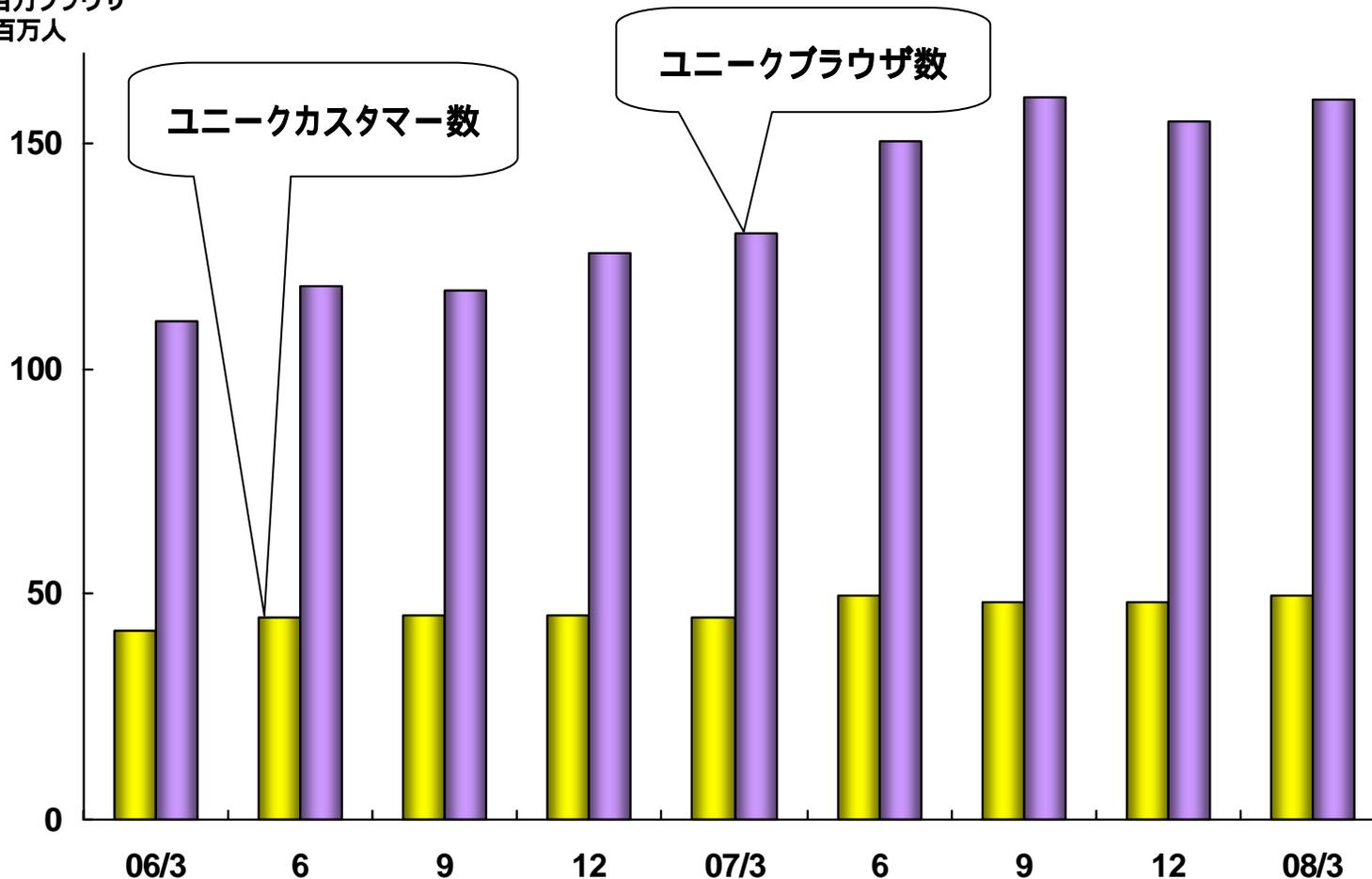
• 1日あたり平均取扱高	<u>2007年1-3月</u>	<u>2008年1-3月</u>
コマース(億円):	25.8	26.1
オークション(億円):	20.7	20.5
ショッピング(億円) :	5.1	5.5
内モバイル経由コマース(億円):	2.7	3.6
• 「Yahoo! BB」接続回線数	<u>2007年3月末</u>	<u>2008年3月末</u>
総回線数(万回線):	516.4	480.9
Yahoo! JAPAN 獲得回線数(万回線):	112.4	98.1
• その他オークションデータ	<u>2007年1-3月</u>	<u>2008年1-3月</u>
平均落札額(円):	5,694	5,277
平均落札率(%):	26	22
• ビジネスエクスプレス(件):	<u>2007年1-3月</u>	<u>2008年1-3月</u>
(月平均件数)	3,073	3,117

「Yahoo!ショッピング」、「Yahoo!チケット」、「Yahoo!トラベル」を含む。両期間とも不正注文を除いた金額を算出



Yahoo! JAPAN利用者数の推移

単位:百万ブラウザ
百万人



- ユニークブラウザ数:当グループサービスが閲覧されたブラウザ数を集計 (当グループ/ニールセン・オンライン調べ)
- ユニークブラウザ数は、外部の大量ID取得ツールからの不正アクセス等により、月により大きく変動することがあります
- Nielsen Online「NetView AMS JP」における家庭および職場からの視聴率データとNielsen Online「インターネット基礎調査」をもとに、Yahoo! JAPANのユニークカスタマー数を算出

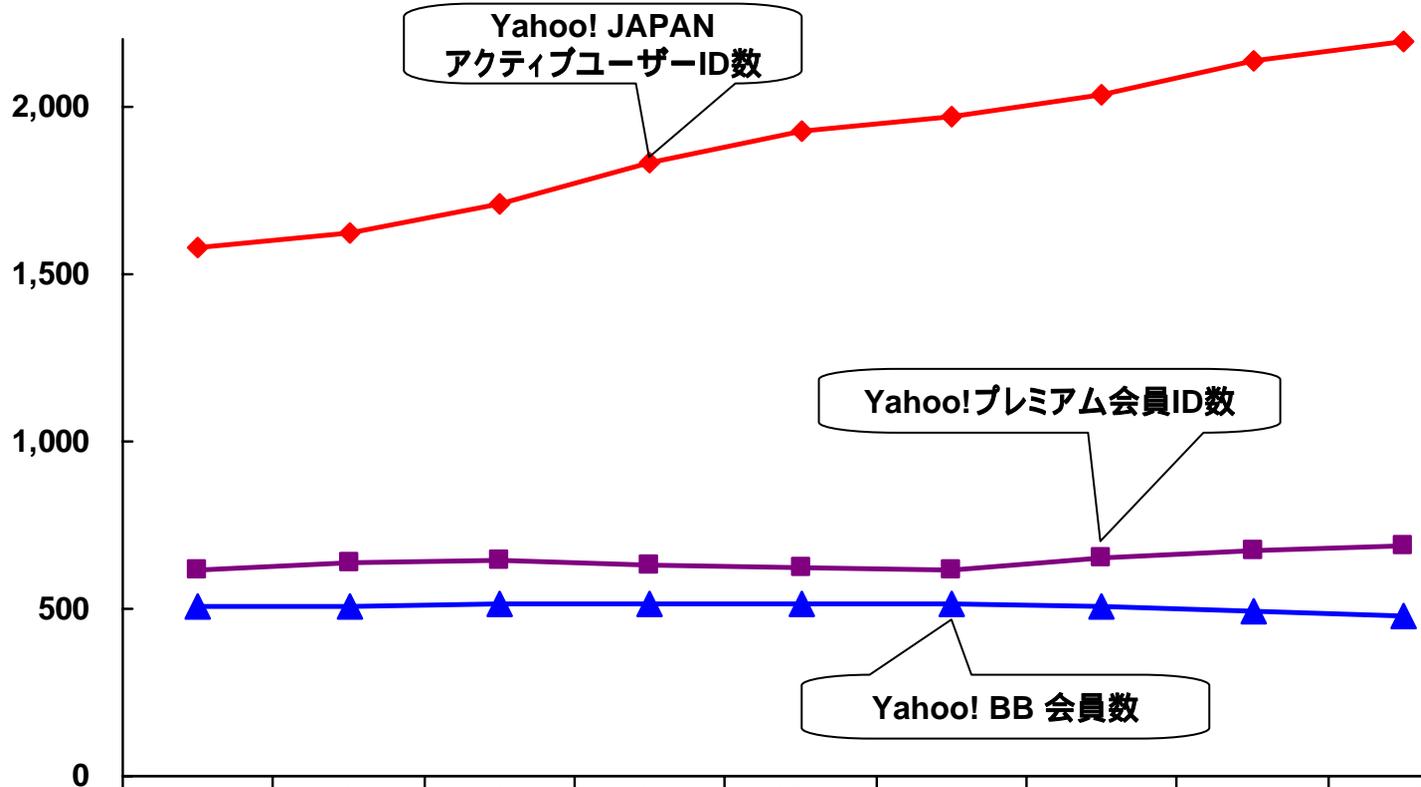
*本資料・データの無断転用はご遠慮ください





Yahoo! JAPAN ID数・会員数の推移

単位:万(ID、回線)



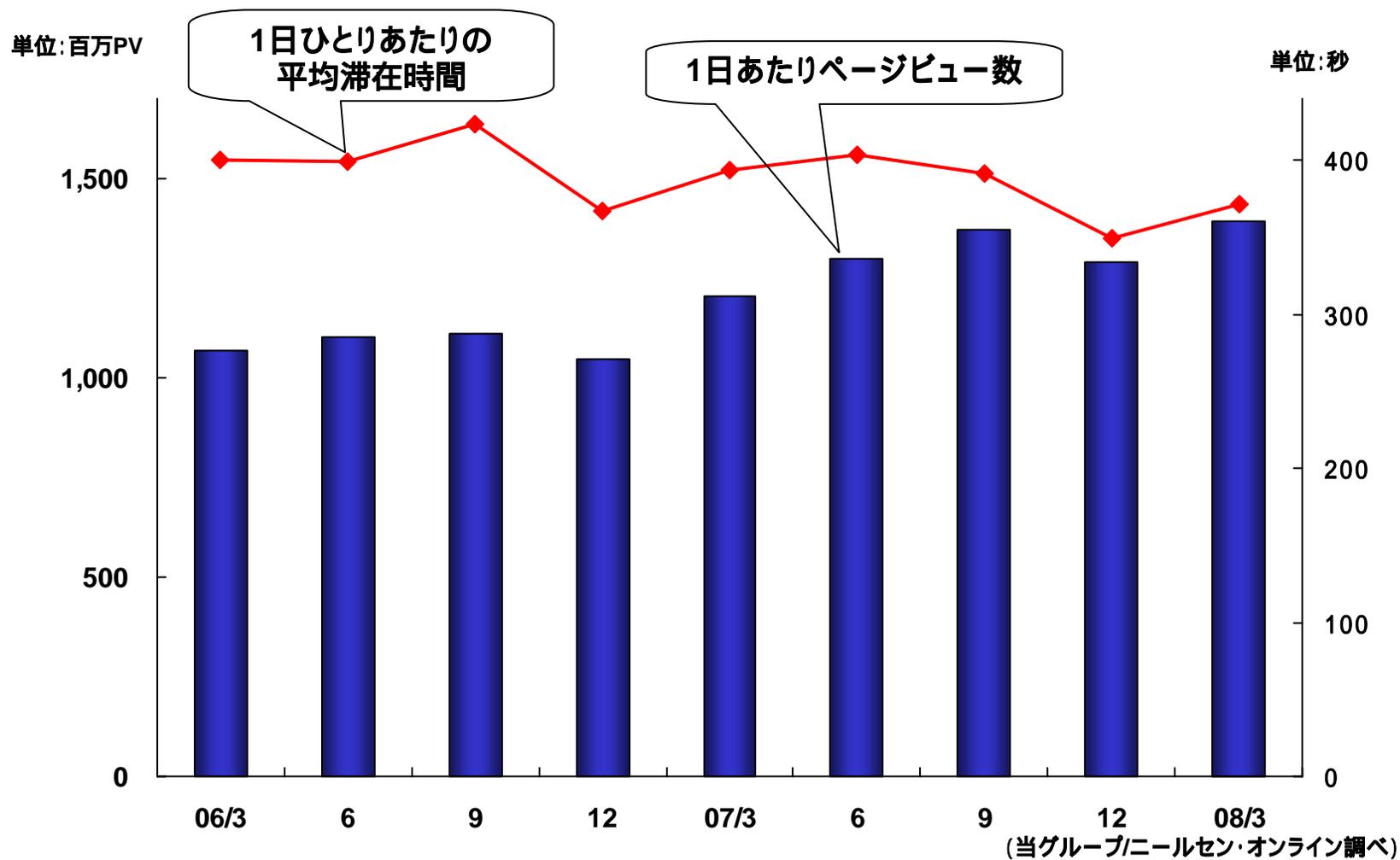
	06/3	6	9	12	07/3	6	9	12	08/3
◆ アクティブユーザーID	1,580	1,624	1,705	1,828	1,923	1,967	2,031	2,136	2,192
■ Yahoo!プレミアム会員ID	615	635	643	630	619	616	649	674	691
▲ Yahoo! BB会員	505	509	515	516	516	513	504	494	481

*アクティブユーザーID数 = 各月中にログインしたYahoo! JAPAN ID数





Yahoo! JAPANページビュー・滞在時間の推移



- ・1日あたりページビューは当社データに基づく
- ・1日ひとりあたりの平均利用時間はNielsen Online「NetView AMS JP」における2006年3月～2008年3月の家庭からの視聴率データを元に算出

*本資料・データの無断転用はご遠慮ください



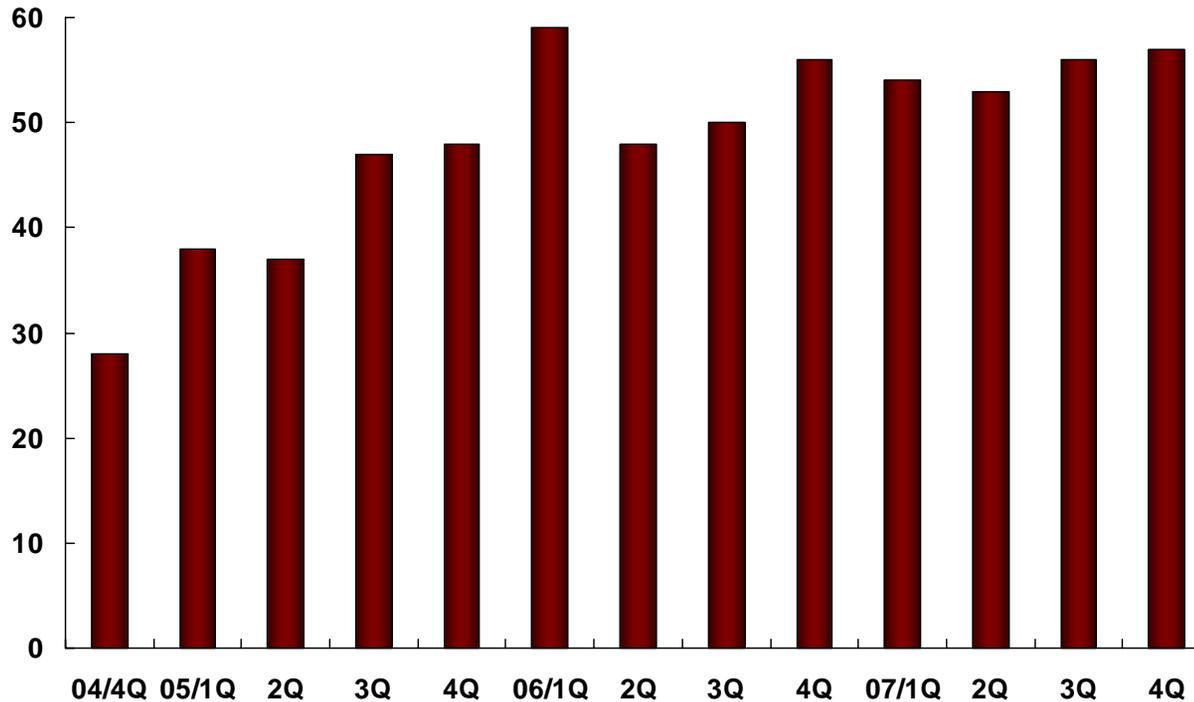


ナショナルクライアントの動向

ナショナルクライアントからの出稿額：56億円(2006/4Q)

57億円(2007/4Q)

単位：億円



■ 上記は検索連動広告を含んでいません

ナショナルクライアント

- ・日経広告研究所2006年
広告費用上位100社
- ・ビデオリサーチ テレビ広告
統計 2006年広告出稿
上位100社(関東)
50社(関西)
- ・MRS2006年新聞雑誌
広告費用上位各100社

に含まれる企業に、当グループ営業
重点企業(大企業等)を加えたものを
母数とする。ここに含まれる企業に
政党および官公庁を加えた企業を
当四半期のナショナルクライアント数
とする



2007年度第4四半期 主要広告主

金融・保険・証券

三井住友銀行
三菱東京UFJ銀行
アイフル

自動車・関連品(輸送用機器)

トヨタ自動車
日産自動車
本田技研工業

不動産・建設

コスモスイニシア
住友不動産
野村不動産

交通・レジャー

全日本空輸
日本航空
東日本旅客鉄道

コンピュータ・コンピュータ関連・事務機器

富士通
松下電器産業

化粧品・トイレットリー

資生堂
ディーエイチシー
エモテント

各種人材サービス

インテリジェンス
エン・ジャパン

移動体通信サービス

KDDI
ソフトバンクモバイル

食品

味の素
やずや

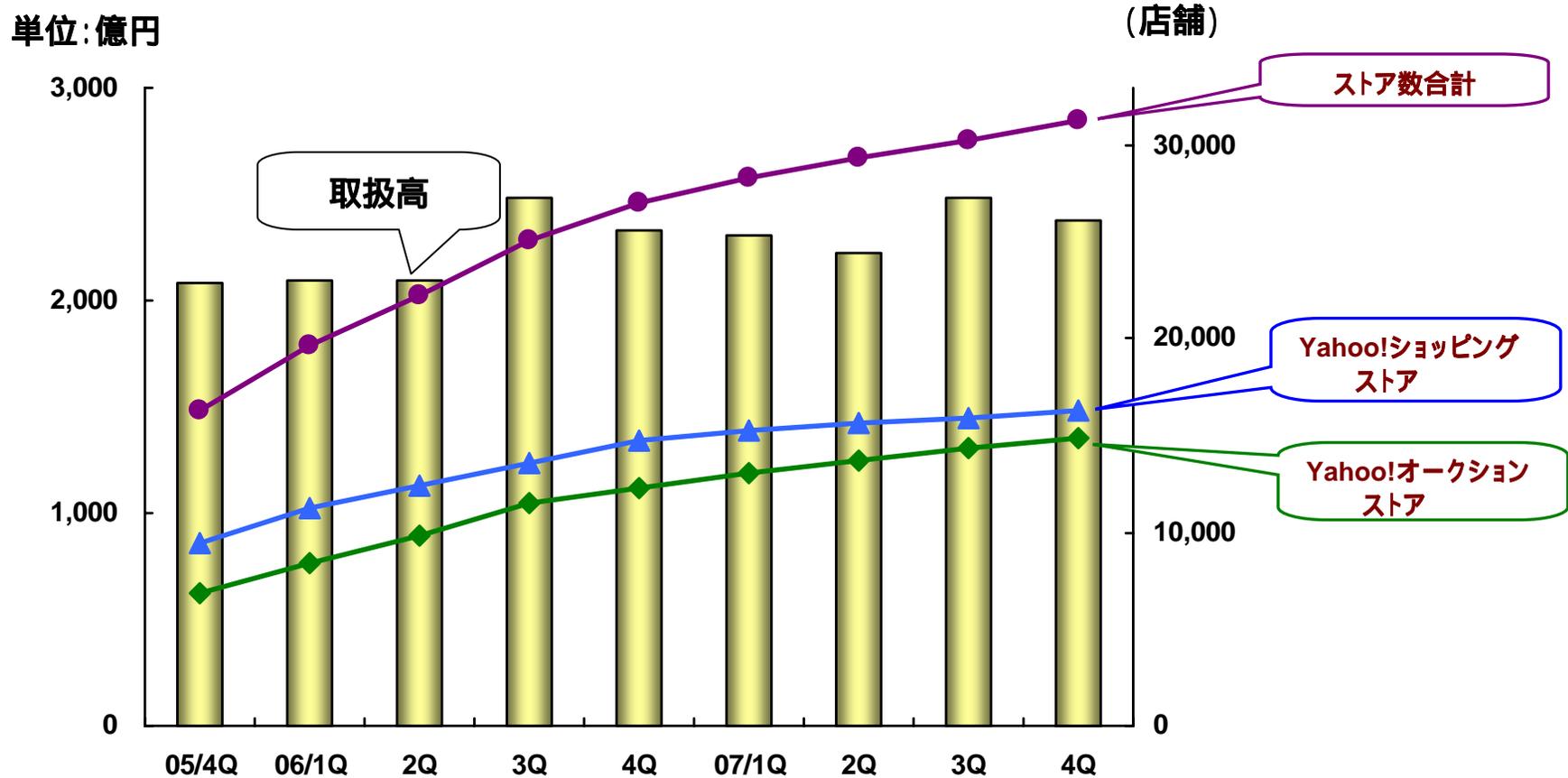
エンターテインメント系ソフト

ガンホー・オンライン・エンターテインメント
ゲームオン

- 上記は検索連動広告を含んでいません
- 上記は広告内容により分類しています



eコマース取扱高およびストア数



●eコマース取扱高に関しては、不正注文を除いた金額を算出しています



当グループのWeb上のIR情報は、以下のURLをご参照ください。

<http://ir.yahoo.co.jp/>